

予 算 要 求 資 料

令和6年度当初予算

支出科目 款：総務費 項：企画開発費 目：企画調査費

事業名 文化財保護管理巡視委託事業費

(この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください)

環境生活部県民文化局文化伝承課 伝統文化係 電話番号：058-272-1111(内3145)

E-mail：c11148@pref.gifu.lg.jp

1 事業費 2,000 千円 (前年度予算額： 2,000 千円)

<財源内訳>

区 分	事業費	財 源 内 訳							
		国 庫 支出金	分担金 負担金	使用料 手数料	財 産 収 入	寄附金	その他	県 債	一 般 財 源
前年度	2,000	0	0	0	0	0	0	0	2,000
要求額	2,000	0	0	0	0	0	0	0	2,000
決定額									

2 要 求 内 容

(1) 要求の趣旨 (現状と課題)

- ・県が実施してきた国指定文化財巡視活動を岐阜県文化財保護協会の活動として位置付け、協会の一層の主体的・自発的な活動につながるとともに、県と民間(協会)がより円滑に連携しながら文化財の保存・活用に取り組む。
- ・改正文化財保護法において市町村にも文化財保護指導委員に設置できるようになり、協会の文化財巡視活動をさらに活性化することで人材の育成が促され、その成果を県内市町村へ還元できる。
- ・県内各地に所在する国指定文化財について、文化財保護巡視員29名による巡視を行い、管理状況を把握する。

(2) 事業内容

- 巡視活動
 - ・県下の主な国指定文化財を各地域で分担し、5月～1月までの9か月で、年9回の巡視を行う。
 - ・巡視結果報告書を月1回作成し、県へ提出する。
- 巡視員研修会
 - ・年1回、年度当初(5月)に2地区で巡視員研修会を行い、巡視活動の着実な推進を図る。
- 巡視員会議
 - ・年1回実施(10月～11月)。巡視に関する意見交換を行い、巡視活動の充実を図る。

(3) 県負担・補助率の考え方
県単費

(4) 類似事業の有無
無

3 事業費の積算 内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細
委託料	2,000	巡視活動報償費及び旅費、巡視員会議・研修会旅費、事務局費用
合計	2,000	

決定額の考え方

4 参考事項

(1) 各種計画での位置づけ

岐阜県文化財保護巡視員は、文化財保護法第191条に定める文化財保護指導委員に当たるものである。

<文化財保護法第191条>

都道府県及び市町村の教育委員会（当該都道府県及び市町村が特定地方公共団体である場合には、当該特定地方公共団体）に、文化財保護指導委員を置くことができる。

2 文化財保護指導委員は、文化財について、随時、巡視を行い、並びに所有者とその他の関係者に対し、文化財の保護に関する指導及び助言をするとともに、地域住民に対し、文化財保護思想について普及活動を行うものとする。

事業評価調査書（県単独補助金除く）

新規要求事業

継続要求事業

1 事業の目標と成果

（事業目標）

・何をいつまでにどのような状態にしたいのか

わが県の歴史・文化の正しい理解をする上で欠くことのできない、県民共通の財産である文化財を適切に保存し、活用していくために、巡視（パトロール）等の事業を適切かつ着実に推進していく必要がある。

（目標の達成度を示す指標と実績）

指標名	事業開始前 (R-)	R4年度 実績	R5年度 目標	R6年度 目標	終期目標 (R 一)	達成率
① 巡視回数	—	9	9	9	9	100%
② 巡視箇所	—	120	121	121	121	100%

○指標を設定することができない場合の理由

--

（これまでの取組内容と成果）

令和 2 年度	<p>・取組内容と成果を記載してください。 巡視員からの報告により、文化財の現状の的確な把握をし、市町村を通じて修理や保護管理の改善・強化、状況把握を図ることができた。</p> <p>指標① 目標：19回 実績：19回 達成率：100%</p>
令和 3 年度	<p>・取組内容と成果を記載してください。 巡視員からの報告により、文化財の現状の的確な把握をし、市町村を通じて修理や保護管理の改善・強化、状況把握を図ることができた。 令和4年度より詳細な報告を求める巡視内容に変更するため、巡視回数を月1回（年9回）とする。</p> <p>指標① 目標：19回 実績：19回 達成率：100%</p>
令和 4 年度	<p>・取組内容と成果を記載してください。 巡視員からの報告により、文化財の現状の的確な把握をし、市町村を通じて修理や保護管理の改善・強化、状況把握を図ることができた。 防災の項目を追加し、写真の添付を義務付けたことにより、文化財の現状がより把握しやすくなった。</p> <p>指標① 目標：9回 実績：9回 達成率：100%</p>

2 事業の評価と課題

(事業の評価)

<p>・ 事業の必要性 (社会情勢等を踏まえ、前年度などに比べ判断) 3 : 増加している 2 : 横ばい 1 : 減少している 0 : ほとんどない</p>	
(評価) 3	<p>わが県の宝である貴重な文化財の適切な保存・活用を図るため、巡視（パトロール）等の事業を適切かつ着実に推進していくことはきわめて重要である。</p>
<p>・ 事業の有効性 (指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか) 3 : 期待以上の成果あり 2 : 期待どおりの成果あり 1 : 期待どおりの成果が得られていない 0 : ほとんど成果が得られていない</p>	
(評価) 2	<p>文化財保護管理費の各事業により、文化財の現状把握が適切に行われ、早期の保護措置が可能になっている。</p>
<p>・ 事業の効率性 (事業の実施方法の効率化は図られているか) 2 : 上がっている 1 : 横ばい 0 : 下がっている</p>	
(評価) 1	<p>文化財所有者や市町村、関係団体との緊密な連携の下、事業の適切かつ効率的な推進のために、共通理解の形成や事業内容の精査を進めている（異常報告については、全て市町村担当者に伝達し、対処方針について巡視員と共有している）。</p>

(今後の課題)

<p>・ 事業が直面する課題や改善が必要な事項 過疎化や中心市街地の空洞化、少子高齢化の進行により、地域コミュニティの弱体化が進み、文化財の所有者や地域の保護の担い手、伝統芸能の後継者不足が深刻になっている。</p>
--

(次年度の方向性)

<p>・ 継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか 文化財をめぐる危機的な状況の中で、文化財の毀損が進み滅失に至る事態にならないよう、これまでの取り組みを継続するとともに、防災の観点の充実等、さらなる充実を図る必要がある。</p>
--

(他事業と組み合わせて実施する場合の事業効果)

<p>組み合わせ予定のイベント 又は事業名及び所管課</p>	【〇〇課】
<p>組み合わせる理由 や期待する効果 など</p>	